

自主映画情報!

おすすめ自主映画館 ・今後の上映日

- ・5月4日(日) 青年文化センターエッグホール
- ・6月8日(日) 青年文化センターエッグホール
- ・7月20or21日 青年文化センターエッグホール
- ・8月3日(日) 青年文化センターエッグホール

3 / 28 (金) ~ 3 / 30 (日)

『女性映画特集』

仙台インディペンデント・シネマ・フェスティバル 97

141ビル・セミナーホール
ギャラリーホール

『エコエコアザラク』を演出し、今や邦画女性監督の旗手として呼び声も高い佐藤嗣麻子監督の『ヴァージニア』や、世界各地の映画祭で大好評の『冬の河童』など、ラインナップが豊富な映画祭。今回のテーマは「女性映画」。『ひみつの花園』劇場公開中の矢口史靖監督も来仙。

【タイムテーブル】

	11:00 ~	13:30 ~	16:00 ~	18:30 ~
3/28(金)				①
3/29(土)	A	B	C	映画講座
	②	③	②	④
3/30(日)	A	選抜席	座談会	⑤
	④	③		

【会場】

5F セミナーホール 6F ギャラリーホール

- ① プログラム
- 『裸足のピクニック』 (16 $\frac{1}{2}$ / 92分) 矢口史靖
 - 『バードウォッチング』 (16 $\frac{1}{2}$ / 15分) 矢口史靖
- ② プログラム
- 『バアブリンプウ』 (16 $\frac{1}{2}$ / 23分) 朝生賢子
 - 『雪はそれ故に眠られる』 (16 $\frac{1}{2}$ / 20分) 青木英美
 - 『下駄とジャズ』 (16 $\frac{1}{2}$ / 54分) 住野真子
- ③ プログラム
- 『につつまれて』 (16 $\frac{1}{2}$ / 40分 / 山形ドキュメント映画祭入賞) 河瀬直美
 - 『かたつもし』 (16 $\frac{1}{2}$ / 40分) 河瀬直美
 - 『絶愛人』 (16 $\frac{1}{2}$ / 20分 / PFF94入選) 歌川恵子

仙台インディペンデントシネマフェスティバル97

ワンピース作品・募集のお知らせ

■ワンピースとは?

『裸足のピクニック』の監督・脚本コンビ、矢口史靖と鈴木卓爾が企画した超小規模映画製作術。ズーム、パン、ティルト、フォロー、移動、手持ちなどのカメラワークを一切排して編集もアフレコもしない、据えたままの「一片(ワンピース)の世界」をワンシーン、ワンカットの一話完結のドラマとして描く。

■参加要項

上記の条件に加え、
①ビデオカメラは固定。スイッチを入れた後はいっさい手をふれない。

- ②テーマは自由。ただしドキュメンタリーは除く。一作品10分以内
- ③カメラはビデオに限る。応募テープはVHSまたは8 $\frac{1}{4}$ ビデオ。デジカムはVHSにダビングして出品のこと。
- ④応募作品は上映会場にて返却致します。

■発表 優秀作品は3/29(土)「～フェスティバル97」映画講座内にて上映。

■応募方法 チラシにある出品票に記入の上、テープと共に下記まで送付下さい。

■応募締切り 要相談

■あて先 〒980 仙台市青葉区中央1-1-1
「ワンピース募集」宛

■問い合わせ 熊谷 〆

主催 ■シネマフェスティバル97実行委員会
後援 ■仙台市市民文化事業団
お問合わせ ■熊谷 〆

④ プログラム
『冬の河童』 (16 $\frac{1}{2}$ / 114分) 風間志織

⑤ プログラム
『ヴァージニア』 (35 $\frac{1}{2}$ / 105分) 佐藤嗣麻子

A プログラム
『さようなら映画』 (VTR/34分/PFF95グランプリ) 大月奈都子
『閉所嗜好症』 (VTR/6分/IFF94入選) 和田淳子
『桃色ベビーオイル』 (8 $\frac{1}{4}$ / 17分/IFF95グランプリ) 和田淳子
『春風』 (8 $\frac{1}{4}$ / 29分/PFF入選) 漆見枝子

B プログラム
『常世の恋人』 ※ (8 $\frac{1}{4}$ / 47分/PFF入選) 宮坂隆子
『わやぶらぼー』 (8 $\frac{1}{4}$ / 53分) 安田真奈
『僕がピエロだった頃』 (8 $\frac{1}{4}$ / 20分) 工藤真起子

C プログラム
『兄の妹』 (8 $\frac{1}{4}$ / 20分) 景政郁子
『春から夏へ』 (8 $\frac{1}{4}$ / 20分) 景政郁子
『となりのワタシ』 ※ (8 $\frac{1}{4}$ / 6分/山形ドキュメント映画祭96入選) 秋本克次
『女心と秋の空』 ※ (8 $\frac{1}{4}$ / 15分) 熊谷睦子
『いい天気』 ※ (VTR / 15分) 伊藤みや
『おはねのバレンタイン』 ※ (VTR / 5分) 高橋自子

映画講座
矢口史靖の映画講座/ワンピースプロジェクト
・応募作品のVTR上映

座談会
司会: あがた森魚
ゲスト: 大月奈都子・河瀬直美・佐藤嗣麻子ほか

【チケットの種類と料金】

- ★前売券 1日券1000円 3日券2000円
- ★当日券(1日券のみ) 一般1200円 学生700円
- ※前売券は各プレイガイドで発売中!



『絶愛人』

主人公はブスである。好きな男に告白すると「友達連れて遊びに来な」と言われる。友達のいない彼女は、町へ出て女の子に声をかける。目的はただひとつ、自分よりブスな女の子を連れて行くためだ。ルックスコンプレックスの過激な踏み絵映画。



『冬の河童』

母違いの兄弟と父の愛人の連れ子という若い男3人の所帯。そこに従妹のサケ子が転がり込む。幼い頃の思い出が染みついたこの家はサケ子を過激にさせ、3兄弟の関係にも微妙な波紋を投げかける。失われた子供時代の邪気に結託し、河童が誘う。



『桃色ベビーオイル』

「あの雲が落ちて来たらどうしよう」「うちが分かんなくなったらどうしよう」。子供っぽい空想の「小さ過ぎる私」は、次第にひとりの部屋で大きくなって「(彼のペニス)が大きくなったらどうしよう」と妄想する大人の女性へと変化していく。



『さようなら映画』

母の死が受け止められない。闘病室は開けたのに死に顔が隠れない。湧き出る母への愛とジレンマ。揺るぎない思いをカメラに託して自分を映す「私」。『悲しい現実と私』を題材にしたながら悲劇的、自虐的な匂いのしな

電撃通信

東北学院大映画部

弥生上映会

仙台で精力的に活動している同映画部が毎年行っている卒業生主催の上映会。大学生活の総決算として新旧力作ぞろいが見られる。

■とき / 3月20日(木)・春分の日

■場所 / 青年文化センターエッグホール

■上映時間 12:30 -

入場無料

■問 映画部(有) 〆

仙台シネマ倶楽部

第31回特別例会

『フィオナの海』

■とき / 3月23日(日)

■ところ / 141ビル・ギャラリーホール

■料金 / 前売1200円当日一般1500円
当日高校生または65歳以上1000円

■上映時間 11:00/13:30/16:00/18:30

■問合わせ先 高塚 〆

10th Anniversary Festa おすすめ自主映画館 の上映システム

仙台シネアストでは、インディペンデント映画をより多くの方々に観覧していただくため、一日に何度も上映する方式をとっております。また、日程の都合がつかず会場にたけなかつた方のために、作品群の半分を翌月上映いたしておりますのでお気軽にご来場ください。「毎月たくさん映画を観たい」という方にはその月だけの上映「月間特集」(S)もご用意しておりますので裏面の作品解説を参照のうえ、ご覧下さい。



A: 6月上映会 B: 7月上映会